

文字と式だしかめテスト

6年 組

〈各10点〉

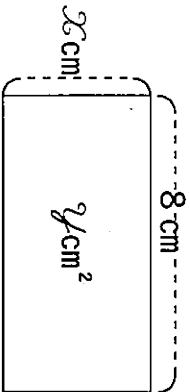
点

1 1本60円の鉛筆 x 本と、50円の消しゴムを買いました。

①代金の合計を式に表しましょう。

②鉛筆を12本買ったときの代金の合計を求めましょう。

2 縦が x cm、横が 8 cmの長方形があります。面積は y cm^2 です。



① x と y の関係を式に表しましょう。

② x の値が 4.5 のとき、対応する y の値を求めましょう。

③ y の値が 24 になるときの、 x の値を求めましょう。

3 次の場面で、 x と y の関係を式に表しましょう。

①赤のテープが x m、青のテープが 15 m あります。全部で y m あります。

② x L のジュースを 8 個のコップに等分したときの 1 個分は y L です。

③ x 円のハンカチを買って 1000円札を出したときのおつりは y 円です。

④ 1 辺の長さが x cm の正三角形の周りの長さは y cm です。

⑤ 計算問題を x 題 解くのに 20 分かかりました。

1 題にかかった時間は、平均 y 分になります。

答えは、裏面(次ページ)

【文字式たしかめテスト】 答え

1 ① $60 \times x = 50$ ② $60 \times 12 + 50 = 720 + 50 = 770$ 答え. 770円

2 ① $x \times 8 = y$ ② $4.5 \times 8 = 36$ ③ $x \times 8 = 24 \rightarrow x = 24 \div 8 = 3$

3 ① $x + 15 = y$ ② $x \div 8 = y$ ③ $1000 - x = y$

④ $x \times 3 = y$ ⑤ $20 \div x = y$

分数のかけ算 1

6年 組 _____

◎教科書を見ながら学習しましょう。

* 「丸ゴシック体」は、ヒントや解説を表しています。

◎教科書に入る前に、「分数」について復習しましょう。

Q. 「 $\frac{2}{3}$ 」とは、どんな大きさでしょうか？

A : 答え方は2通りです。

① 「1」を3つに分けた “かけち欠片” の、2つ分の大きさ。

(「かけち欠片」という言い方は本当は適切ではないのですが、この方がイメージしやすいかと思っ
て使いました。このプリントでは今後も「かけち欠片」という言葉を時々使いますが、本当は適切ではありません…)

この「1」は、おせんべい1枚の場合もあるし、水1Lの場合もあるし、1mLの場合もあるし、リボン1mの場合もあります。色々な場面での、「1」です。

②. 2を3で割った数。これは、5年生で習いましたね。 $2 \div 3 = \frac{2}{3}$ でした。

◎それでは、教科書に入っていきますよ。

分数のかけ算を考えよう

P. 35

1

1 dlで、板を $\frac{3}{7}$ m² ぬれるペンキがあります。
このペンキ2 dlでは、板を何m² ぬれますか。

① * 答えは、出す必要ありません。

式 _____

◎上の□の数か、 $\frac{5}{10}$ m²だったら、どんな式になりますか？ そう、 $\frac{5}{10} \times 2$ です
ね。では、 $\frac{10}{10}$ m²だった、どんな式になりますか？ $\frac{10}{10} \times 2$ ですね。

上の問題では、 $\frac{3}{7}$ になっただけです。そうすると、式は？

Q. $\frac{3}{7} \times 2$ の答えを、自分なりに考えて出してみましょう。

そして、どうやって答えを出したか考え方を説明してみましょう。図を使ってもいいですよ。

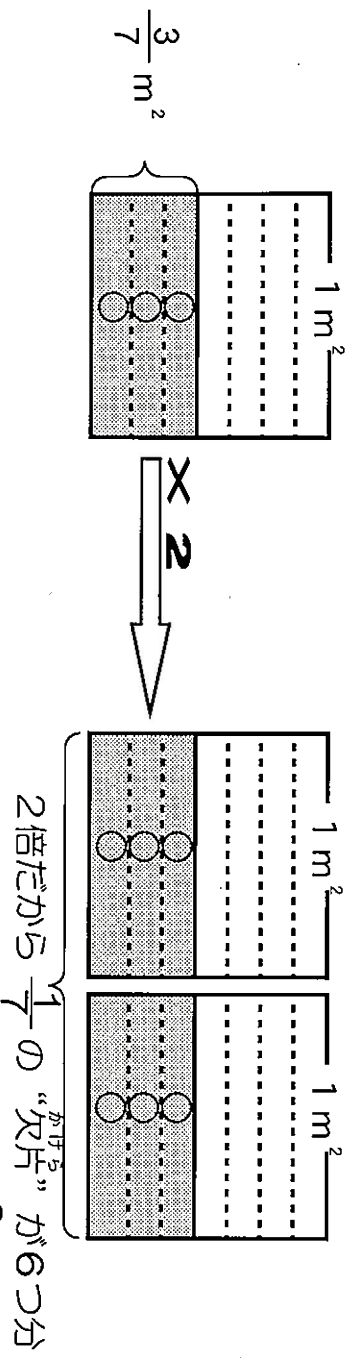
答え _____

◎答えは出せましたか？ 教科書P.36の説明を見てください。

あみさんは、図を使って説明しています。

1dLでぬれる面積は、下の図の通り。

「1」を7で割った“かけ欠片”が3つ分。



はるとさんは、式を使って説明しています。

$$\frac{3}{7} \times 2 = \frac{3 \times 2}{7}$$

$\frac{3}{7}$ が2倍ということは、“かけ欠片”の数が2倍になること。

だから、分子の3を2倍すればいいということ。

答え. $\frac{6}{7} m^2$

まとめ

分数に整数をかける計算は、
 はそのままにして、 に
 その整数をかける。

$$\frac{b}{a} \times c = \frac{b \times c}{a}$$

字体を整えてみましたが、abcを色分けすると、もっと分かり易くなると思います。

① $\frac{2}{7} \times 3$

② $\frac{3}{13} \times 4$

③ $\frac{5}{2} \times 3$

④ $\frac{1}{7} \times 5$

*答え合わせと、間違いないまでしっかりとやりましょう。

答えは、プリント5ページ目にあります。

*ドリル13 左を、ドリルノートにやりましょう。

分数のかけ算2

6年 組

P.37 2

1 mの重さが $\frac{5}{8}$ kgのホースがあります。
このホース3 mの重さは何kgですか。

*答えを出す必要はありません。

式 _____ *分からなかったら、前回ののように数を置き換えたり、
または、数直線を書いたりしてみましょう。

式は書けましたね。では、計算してみましょう。やり方は、前回と同じです。

式

答え _____

◎ $\frac{5}{18} \times 3 = \frac{5 \times 3}{18} = \frac{15}{18}$ 答え $\frac{15}{18}$ kg で、いいですか？

間違っではないませんが、これではダメです。大事なことを忘れています。「約分」です。18も、15も「3」で割ることができませんね。

だから答えは、 $\frac{15}{18} = \frac{5}{6}$ となります。

このように計算して答えを出してから約分しても 悪くはないのですが、答えの数が大きくなると“どちらも同じ数で割れる”ということが分かりにくくなる場合があります。

たとえば、 $\frac{3}{35} \times 7 = \frac{3 \times 7}{35} = \frac{21}{35}$ という計算で、「7と35で約分できると

気付いても、「21と35が約分できる」と 気付けないこともあるかも知れません。
(もちろん、21と35で気付ける人もいます...)

そこで、この段階で約分してしまうとよいです。

だから、面倒くさがって、頭の中で暗算するだけでいきなり答えを書くのではなく、
の部分も、ノート等に計算するとき しっかり書くようにしましょう。

まとめ

計算のとちゅうで約分できるときは、約分してから計算すると、簡単になる。



①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧

つまり、

1 mの重さが $\frac{5}{8}$ kgのホースがあります。このホース{6 m, 9 m}の重さは何kg?

という問題です。

[6 m]

式

答え

[9 m]


式

答え

*答え合わせと、間違い直しまでしっかりとやりましょう。
 答えは、プリント5ページ目にあります。

*ドリル13 右を、ドリルノートにやりましょう。

【分数のかけ算1】の答え

P.36 

① $\frac{6}{7}$

② $\frac{12}{13}$

③ $\frac{15}{2}$ ($7\frac{1}{2}$)

④ $\frac{5}{7}$

【分数のかけ算2】の答え

P.37 

① $\frac{2}{3}$

② $\frac{7}{2}$ ($3\frac{1}{2}$)

③ $\frac{3}{4}$

④ $\frac{14}{3}$ ($4\frac{2}{3}$)

⑤ $\frac{27}{4}$ ($6\frac{3}{4}$)

⑥ 5

⑦ 18

⑧ 12



[6 m] $\frac{5}{18} \times 6 = \frac{5 \times \cancel{6}^1}{\cancel{18}^3} = \frac{5}{3}$ ($1\frac{2}{3}$)

答え $\frac{5}{3}$ ($1\frac{2}{3}$) kg

[9 m] $\frac{5}{18} \times 9 = \frac{5 \times \cancel{9}^1}{\cancel{18}^2} = \frac{5}{2}$ ($2\frac{1}{2}$)

答え $\frac{5}{2}$ ($2\frac{1}{2}$) kg